

『立教ビジネスデザイン研究』創刊によせて

ビジネスデザイン研究科院生のための紀要『立教ビジネスデザイン研究』が創刊されました。ビジネスデザイン研究科は2002年に設置された社会人のためのMBAコースです。ビジネスデザインという研究科名は、経営管理を意味する従来のMBA (Management of Business Administration) とは一線を画するために創られた新しい学問領域を示唆しています。組織を維持・管理するのみならず、組織の創造的破壊を介して社会に貢献できる人材育成を目指した実・学一体の研究科です。

実・学一体を目的とする研究科や学会は近年の潮流であります。永い間、日本の社会科学では実務・実践と学問領域が分離していました。しかし、現実社会の問題を発見し、これを解きほぐして処方箋を書くことができねば社会科学として存在する意義はありません。実際、偉大な社会学者は、実務経験を通じて問題の深刻さや政策提言の必要性を認識していたのです。彼らの取り上げるテーマが社会にとって重要な課題であるがゆえに、偉大な学者となるのです。

経営学の世界では、テーラーの科学的管理法やファヨールの経営管理、それにバーナードの組織論など、今日の古典と呼ばれるものはすべて象牙の塔から生まれたものではありません。実務から離れた経営学はありえないのです。それは、直接的であるか、間接的であるか、あるいは短期的であるか長期的であるかは別にして、企業や組織のあるべき姿や方向性を示し、それらが直面する問題に対して解決策を講じるものでなければなりません。こうした実務からの要請に応える緊張感を持たねば社会科学としての役割は存在意義を失うでしょう。

本研究科の院生は、第一線で活躍し、現代的な企業経営の問題を発見し、これを解決するための研究に真摯に取り組んでおります。実・学一体のビジネスデザイン研究を志す有志により、新たな社会科学の発展が期待されています。この研究紀要が、その一助となれば幸いです。

ビジネスデザイン研究科委員長
亀川 雅人